

つながる

# あなたの“ちよつとした困りごと”を たすけ隊！

## 「矢巾町 流通センター地域 「たすけ隊」」

一人ぼっちをつくらない  
新たな縁を生み出す  
「たすけあい隊」

利用者は「助かる」  
隊員は「生きがい＆活動1回  
1ポイント」の仕組

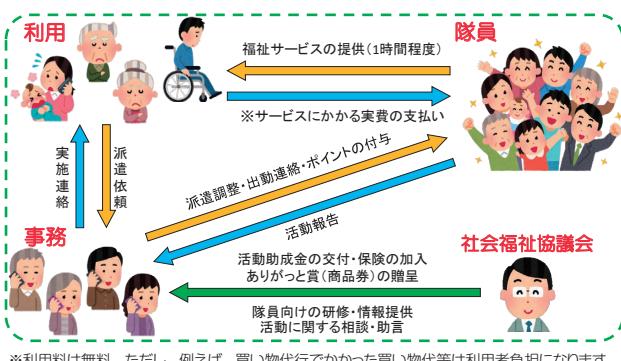
り、寄付金が地域福祉の推進に還元される仕組となっています。

40～50年前と比べ、便利な世の中になり、生活スタイル、働き方、人づき合いが大きく変化しました。健康であるうちに働いているうちは、誰かや働いていたり、高齢になつたり、健康を維持できなくなり、困りごとが出てきた時、どこにも頼ることができないと一人ぼっちで抱え込むことになってしまいます。

矢巾町社会福祉協議会（以下、「町社協」と表記）では、一人ぼっちはつくらない地域のつながりを作つていくため、地域のつながりをよく知る住民の力を借りようと町内にある老人クラブ等に働きかけ、平成27年に「矢巾町日常生活たすけあい隊」（以下、「たすけあい隊」と表記）を立ち上げました。

27年には、「たすけあい隊活動助成金」「たすけあい隊活動助成金」「ありがとう賞」には、町協に寄せられた寄付金等による福祉基金を活用してお

一人でも「たすけ隊」を求める人がいればその期待に応えたい



流通センター地域の「たすけ隊」



たすけ隊の活動の様子  
(住居の掃除、片付け)



左は流通センター地域「たすけ隊」、右は他地域のたすけあい隊のベスト

け隊」（隊長 藤原雅秋さん）は、平成27年に発足し今日まで活動を継続しています。今ではその活動が地域で浸透

ができます。住居の掃除、照明器具の交換、病院の付き添い、庭木の剪定、ゴミ運び、除雪、草刈、話し相手など、ちょっとした困りごとから大きな作業まで様々な活動を行っています。隊員は70歳～84歳の8名で、昨年度は71回活動しました。

たすけ隊の初代隊長を務めたすけ隊の元隊員として活動を続けています。夫が必要です、今まで積み重ねてきた我々の思いを理解し活動してくれる後継者の育成も必要です。たすけ隊を若返らせて、依頼をしてくれる方が一人でもいる限り活動を続けていきたいです」と意気込みを語ってくれました。



ありがとう  
ポイントカード



商品券  
「ありがとう賞」